

実

践

出

版

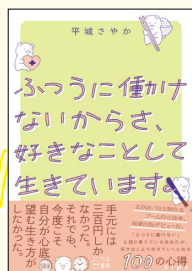
講

座



ナカノシマ大学2026年9月講座

最強の「ひとり出版社社長兼編集者」が来阪



1.北尾さんがZINEフェアに通って才能を見出した平城さやかの本。手に取りたくなるタイトルだ 2-3.北尾さんのZINE的著書。がん告知→手術→闘病でも笑って読ませるサービス精神の塊のような2点 4.同じ編集者として何度も膝を打った著書『いつもより具体的な本づくりの話を。』(イースト・プレス) 左/プロフィール写真(下)ではコワモテだが、読者に出会うブックフェアではこの笑顔

9/12(土) 14:00~16:00 (13:30開場)

会場 **堂島ビルディング1階B会議室** (大阪市北区西天満2-6-8)

受講料 **3,500円** 定員 **40名**

講師 **北尾修一** (編集者・百万年書房代表)

主催 **ナカノシマ大学事務局 (株式会社140B)**

出版社の経営は「町中華の店主になること」と断言する人の講座。大いに期待すべし

売れる売れない二の次で／かっこのよろしい本づくり／読んでもらえりゃ万々歳／そんなあたしは傾奇者／人呼んで百万年書房と発しやす……こんな口上でおなじみの、百戦錬磨の編集者兼版元代表による本づくり講座。自分の思いを出版物にして販売するのは一人でゲリラ戦を闘うようなものですが、日々走り回りながら愉快に闘っている人がナカノシマ大学のために来阪してくれました。ぜひ!

〈講師からのメッセージ〉

「そんなことやったら食っていけないぞ」と言ってくる人いますよね。でもみんなが本当にやりたいことって今たいてい食っていけないですよ。だから知るかボケて言いながらやってみせるのが大人ってもんです。そこで言うこと聞いてしまったらやりたいことなんて一生やれませんか。食べそうもないことをやる人間が偉いんです。

そういう意味で今いちばんの狙い目は出版です(笑)。本をつくっているやつがいちばんかっこいい。そのことを証明する時間を目指します。

きたお・しゅういち 1968年京都生まれ。1993年から2017年まで太田出版に勤務し、雑誌『Quick Japan』の編集長を経て2017年、「百万年書房」を設立。向坂くらや平城さやかの本を世に出し、ZINEのフェアに顔をだしては作家を発掘。2025年3月にはNHK「おはよう日本」でも紹介された。著書に『いつもより具体的な本づくりの話を。』など。いかついビジュアルとは裏腹の笑顔にファン多し。何処に行っても犬に吠えられる。

※当日は会場で、北尾さんの著書『自分思い上がったてました日記』『いつもより具体的な本づくりの話を。』や、北尾さんが編集した百万年書房の本を販売します。



講師の北尾修一さん

→受講申込は、こちらのQRコードからナカノシマ大学のWEBで受付します。

※次回は9月26日(土) 15時予定……「4人の女が語る ここだけの山崎豊子」

講師=田中光子(文藝春秋編集者)、荒井真理亜(相愛大学教授)、小八木利子・香西順子(山崎豊子の姪)



本

を

作

ま

つ

て

日

記

売

る

う